

令和7年6月16日

(送信枚数：全5枚)

各位

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

東京都高齢者福祉施設協議会

会長 田中 雅英

第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第20回アクティブ福祉in東京'25合同大会
第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'25」審査結果報告

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第20回アクティブ福祉in東京'25合同大会の開催にあたり、様々なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで無事に大会を終了いたしました。

さて、「アクティブ福祉in東京'25」の審査結果については、表彰審査委員会による厳正な審査の結果、別紙の通りとなりましたのでお知らせいたします。

なお受賞した施設の表彰は下記2のとおり特養分科会終了後に時間を設け実施いたします。表彰式のみご参加の方は、下記URLよりお申込みください。

また受賞した施設・団体の一覧は、顕彰の一環として、本会ウェブサイトをはじめ、広報誌等に掲載させていただく予定です。

記

- 1 審査結果 別紙のとおり
- 2 表彰式 日時：令和7年7月17日（木）16時15分～16時30分
会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター5階 ホール5A
※特養分科会参加者の皆様はそのまま会場にお残りください。
※特養分科会以外の会員も参加可能です。
※表彰式のみご参加される方は、下記URLよりお申込み下さい。

<https://form.run/@kourei-ECY7NvfQ5WKWHy06B9M6>

- 3 問合わせ先 東京都社会福祉協議会福祉部 高齢担当（松下・山本）
（電話）03-3268-7172 （FAX）03-3268-0635



▲申込フォーム

第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第20回アクティブ福祉in東京'25合同大会
第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'25」
審査結果（受賞者一覧）

令和7年6月16日

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会

第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'25」
優秀賞

※第1～第5分科会は関東ブロック老人福祉施設研究総会の分科会です。

※アクティブ福祉in東京'25は、関東ブロック老人福祉施設研究総会との合同開催に伴う会場数の制限の関係で、各分科会の上位2題が優秀賞となります。優秀賞2題の順位については公表いたしませんのでご注意ください。

第6分科会 日常ケアの向上

6-2 特別養護老人ホーム谷中（社会福祉法人 台東区社会福祉事業団）

小松 志帆さん、天野 由貴さん

主題 最後まで経口摂取にこだわり、誤嚥予防に取り組んだ20年

副題 歯科医、歯科衛生士、及び口腔ボランティアとの協同による科学的根拠に基づく
支援の効果とは

審査員からのコメント

【佐々木】最期まで口から食べ、飲み、誤嚥することなく見送ることができて本当に良かったですね。今回の発表は歯科スタッフによる助言に基づく実践という位置づけでしたが、医療職が的確に助言できたのは、介護職が利用者と日常的にかかわり、観察したことを細やかに発信（記録・報告）してきたからだと思います。今後はぜひ、介護職による食事時の観察、声掛け、一部または全介助のポイント等を報告されると良いと思います。「当たり前なこと」と思うことほど他施設の人と共有し、互いの気づき合う機会にするとよいと思います。日頃の地道な取り組みを丁寧に言語化して行って下さい。

【細野】ボランティア、多職種と連携し最後まで口腔摂取をすることを目的とした20年間に及ぶケアはとてもすばらしいと感動しました。これからも頑張って続けてください。

6-7 特別養護老人ホーム神明園（社会福祉法人 亀鶴会）

高篠 沙耶香さん、澤田 美央さん

主題 “楽しみ”の提供からみるサクセスフル・エイジング

副題 ネイルケアサロンチームの活動を通して

審査員からのコメント

【佐々木】動画の「新色が出るのが楽しみ」という言葉から利用者が受身的に楽しんでいるのではなく、自分自身が「おしゃれをしたい」「自分らしさを発揮したい」と思っていることが伝わってきました。「ネイルケア」という形ではなく、1人ひとりの利用者がどう暮らしたいのか、心豊かに暮らすために何を求めているのかを考えた結果だと思えます。この思いを施設全体に伝えて、すべての職員・すべての利用者の思いに応えるケアを行えるよう地道な取り組みを続けていってください。

【細野】ネイルケアとチームビルドという2つの目的に対して前後でアンケートを取り結果が明確にわかるよう評価している点が汎用性もあり良かったです。努力が伝わってきました。

第7分科会 科学的介護の実践・生産性向上の取り組み、地域包括ケア・地域貢献・地域

共生社会

7-3 特別養護老人ホーム博水の郷(社会福祉法人 大三島育徳会)

岩永 真祐さん、佐藤 大介さん

主題 働きやすい職場による利用者満足度の向上

副題 介護職員離職ゼロへの挑戦

審査員からのコメント

【村井】主題、副題に適合した発表内容でした。他の施設も十分に参考になる取り組みであり、理論と成果がきちんと紐付いていました。

離職率をゼロにするために、できることはすべて実行してみるという姿勢は素晴らしい内容でした。しかも、単に職員に迎合するという姿勢ではなく、働きがいを高めることを主眼とした、介護業界全体の専門性や価値を高める取り組みとなっています。

発表者の話し方やスライドもほぼ完璧と言って良い内容であり、会場で発表を聞いた人達は「この組織で働きたい」と思った人も多かったのではないのでしょうか。

【白井】研究目的・目標が明確であった。具体的方法は他施設の学びとなるものである。ICT活用等安心できる場の提供は国籍を超え福祉現場で働き続ける意欲になると実感した。

7-5 好日苑(社会福祉法人 響会)

渡邊 千尋さん、佐々木 綾子さん

主題 介護ロボット等を活用して「持ち上げない介護」の実践による生産性向上の取り組み

副題 入居者の穏やかな暮らしの実現と介護職員の腰痛予防と改善に向けて

審査員からのコメント

【村井】介護ロボット等に本当に求められている活用方法を実践したモデルケースと感じました。一人ひとりの利用者のニーズに即した介護ロボット等を選択する方法、それが実現した際の状況などについて、わかりやすく動画で示されていました。また、単に導入したということではなく、それに基づく職員の労働環境の改善結果も示されており、単に利用者支援の向上だけでなく、職員の労働環境の向上にもつながることをエビデンスで示した点が素晴らしかったです。

【白井】長期に渡り一貫した研究の実践は継続する重要性とともに状況に合わせた適切なイノベーションが行われていた。ノーリフティングケアを通じて利用者の自立支援・本人の希望を叶えるという福祉の基本が実践されていた。

第8分科会 次世代を見据えた人材採用・育成・定着/広報戦略

8-11 等々力の家(社会福祉法人 奉優会)

多和田 真吾さん

主題 本気の避難訓練

副題 犠牲者ゼロを目指した垂直避難誘導

審査員からのコメント

【田中】なぜこのテーマで取り組もうと思ったのか、きっかけの話がなかった(一般的なことではなく)。実際に行ったデータや動画、分析があり分かりやすかった。研究期間が2か月なのが残念だった。

【午頭】本気度が伝わる内容でした。事前準備や訓練は大変だったと思います。しかし、どこにどのように時間を要するのか、利用者の不安は何か。職員の注意すべき点を把握できたことは、汎用性があると思いました。大変素晴らしいと思います。今後ビデオカメラでも撮影されたとの事ですので是非分析をして、発表していただきたいです。お疲れさまでした。

8-12 調布市地域包括支援センターときわぎ国領(社会福祉法人 常盤会)

小嶋 泰之さん、道脇 絢子さん

主題 当事者の想いを逐語録としてまとめた「わたしの思い」プロジェクトの効果

副題 住民の気持ちに寄り添う支援と地域の醸成

審査員からのコメント

【田中】きちんと形になり当事者の声として、会場にいる方にも分かりやすく(寸劇をいれた)所がとてもよかった。また、この活動をぜひ地域の勉強会や講師などにも活用されるとよいと思いました。(発表方法がよかったです。差別化されていました。)

【午頭】取り組みとして素晴らしいと思います。さらに、これを市民への認知症周知に使用されるのであれば、その使用先や満足度などもあるとよいと思います。ただ「好評」だけではなく、誰に、どの様に、どの点で好評(というか、メリット)かをデータで取られると、次の研究につながるかと思います。またこの逐語録を量的データとして分析されるのはどうでしょうか。期待しております。お疲れ様でした。

会場	氏名	所属
第6分科会	佐々木 幸	社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター
	細野 真代	日本福祉教育専門学校 介護福祉学科
第7分科会	村井 祐一	田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科
	白井 孝子	学校法人滋慶学園 東京福祉専門学校
第8分科会	田中 美幸	東京福祉保育専門学校 介護福祉学科
	午頭 潤子	白梅学園大学

第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'25」 日本介護福祉士養成施設協会 東京部会 奨励賞

第7分科会 科学的介護の実践・生産性向上の取り組み、地域包括ケア・地域貢献・地域

共生社会

7-8 日本社会事業大学

門脇 敏紀さん、木下 敬登さん

主題 ヤギの飼育を通じた地域交流

副題 日本社会事業大学での試み

《参考》各賞について

優秀賞	各テーマにおける口演発表の総得点数が上位2題の発表
日本介護福祉士養成施設協会 東京部会 奨励賞	学生発表